

作成 令和3年11月15日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第3回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和3年10月29日～
議事録（抜粋）

2 防災政策について

質疑概要

摂津市の水害氾濫への対応についてかねてから議会で議論が行われているが、広域避難における避難先はいまだに確定していない。その状況などについて取り上げている。

また地震対応について、災害発生時の死傷者だけでなく、震災関連死もまた防ぐ手立てが求められる。その震災関連死に焦点を当て、どう市として対策しているのか取り上げている。

○松本議員

水害対策について毎年のように大雨による災害が全国で起きております。本市も安威川氾濫、淀川氾濫に備えた対策を着実に進めて行かなければなりません。

その対策として災害復旧拠点の河川防災ステーションの整備や広域避難施策が進められておりますが、広域避難の取り組みについての現状お聞かせください。

次に地震対策について、本市では南海トラフ地震や上町断層帯地震などが予測されています。

地震対策において災害発生時の死傷者を防ぐために危険なブロック塀撤去や家屋の耐震改修などをしっかりと取り組んでいくことが求められます。

合わせて、震災関連死を防ぐ取組みも重要です。特に避難所生活での劣悪な環境を回避することが重要ですが、大災害時での適切な避難所運営、特に震災関連死防ぐための取組みについてお聞かせください。

(略※)

○南野議長

総務部理事

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○辰巳総務部理事

「水害時の広域避難の取り組みの現状」についてのご質問にお答えいたします。

まず、本市において安威川・淀川が氾濫した場合に、避難を要する市民は全人口の約7割、約62,000人にのぼります。これに対して浸水被害を免れる避難所は千里丘付近に3カ所しかなく、コロナ禍での3密を避けた収容可能人数は630人程度と見込んでおります。

このような状況下、市民の皆様には浸水しない地域にお住まいの親戚や知り合いを頼っての縁故避難など広域避難をお願いしたいと考えております。

市といたしましても近隣自治体に本市の置かれた状況を丁寧に説明し、公共施設等への広域避難の受け入れをお願いしておりますが、本市からの避難者をどの程度受け入れ可能かなどの検討も必要であり、具体的な避難先の確保にまでは至っておりません。引き続き、粘り強く広域避難先の確保に向け調整して参ります。

また、国土交通省と大阪府が事務局となり、三島地域の市町等で構成する三島地域広域避難検討ワーキンググループにおきましても、これまで1年以上かけて広域避難の検討に取り組んできておりますが、現在は、万博記念公園を淀川破堤時の広域避難先のモデルケースとした検討課題の抽出とタイムラインの策定に取り組んでいるところでございます。

続きまして大規模地震が発生した際の避難所運営、特に災害関連死を防ぐための取り組みについてのご質問にお答え致します。

大規模災害時の避難所運営につきましては、市の職員だけでの対応には限界があり、防災サポーターをはじめとした地域の皆様を中心に、主体的に運営していただきたいと考えております。

しかし、議員のご指摘の通り、大規模な震災が発生した場合、避難所等における災害関連死が懸念されます。過去の災害を振り返りましても、不慣れた避難生活におけるストレスや持病の悪化など、様々な要因による災害関連死が発生していることから、避難所の環境整備や避難者の体調管理については最大限の配慮が必要であると考えております。

災害関連死を防ぐための具体的な対策としては、「T(トイレ)、K(キッチン)、B(ベッド)」の整備が推奨されており、本市におきましても、特に衛生面で大きな課題となるトイレ対策に関しましては、現在備蓄している簡易型使い捨てトイレに加えて、避難所におけるマンホール等の整備について、上下水道部と連携し検討を進めているところでございます。また、その他にもプライバシーに配慮したテント型パーティションの配備や協定締結事業者による段ボールベッドの速やかな搬入などの対策を進めております。

さらに、長期避難者の体調管理に向けた保健師の巡回健康相談等に努めますとともに、備蓄食糧につきましても、食物アレルギーの避難者などに配慮するなど、多様な課題に出来る限り対応できるよう検討して参ります。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(略※)

○松本議員

これよりは一問一答形式でお願い致します。

水害対策ついてですが、広域避難の取り組みについて、本市は摂津オリジナル避難メソッドを昨年に打ち上げていますが、縁故等での避難先が無い市民が必要とする広域避難先すら、未だに確定できていない現状と理解しました。

いつもまで時間をかけられるのでしょうか。受け入れ人数や態勢など細かい調整はともかく、避難先だけでも明示することが市民の安心に大きくつながります。

そろそろ、事務方だけでなく、市長自ら市民の命を守るために、政治力を発揮すべきではないでしょうか。大阪府、そして吹田市や茨木市にも要請するなど、安心を確保するよう強く要望致します。

そして広域避難時の円滑な避難には、避難経路の確保が重要となります。改めて、平素の道路ネットワーク構築の取り組みについてお聞かせください。

○南野議長

建設部長

○武井建設部長

平素の道路ネットワーク構築についてのご質問にお答えします。

快適かつ安全で暮らしやすい環境整備を進める上で、その基盤となる道路ネットワークの構築は重要な取り組みであると認識しています。

本市域の広域道路ネットワークを構成する大阪中央環状線、大阪高槻線、大阪高槻京都線においては慢性的な渋滞が課題となっておりますが、大阪府により十三高槻線正雀工区などの道路改良工事が進められており、また昨年度末に十三高槻線の大阪中央環状線との交差部が「大阪府都市整備中期計画」に位置づけられたことや、令和8年度に予定されている鳥飼仁和寺大橋の無料化等により、今後、その改善が期待されます。

また、本市の管理道路におきましても、千里丘三島線の阪急踏切の遮断による慢性的な渋滞や駅周辺の狭隘道路に囲まれた密集市街地による、歩行者の安全な通行確保などの課題がありますが、阪急京都線連続立体交差事業や本市の「今後の道路整備の進め方」などに基づく、生活道路から地域を結ぶ幹線道路まで計画的かつ総合的に道路ネットワークの整備を進めてまいりたいと考えています。

○南野議長

松本議員。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

道路ネットワーク構築の状況については理解しました。しっかりと進められるものと認識しますが、そこに災害時における広域避難を想定するなどの災害対応もさらに考えていく必要があります。

そのためには、広域避難時の避難先を明確化し、そしてそこへ至る避難経路について明示し、該当する道路については、市道整備は勿論のこと、府道も大阪府に強く要求することが必要となります。

例えば、別府地域から北への避難経路となる府道一津屋正雀線、また鳥飼東部から千里丘へと結ぶ千里丘東駅前線から続く沢良宜東千里丘停車場線の整備等も迅速な高台避難を可能にするものと期待されます。

道路整備については時間と費用を要することから、早期に経路明示と計画作成が必要です。建設部と防災危機管理課が連携して取り組まれるよう強く要望致します。

次に地震対策について、震災関連死を防ぐ取り組みについては理解しました。

震災関連死を防ぐためには快適に過ごせる避難所の環境整備と適切な避難所運営が重要であり、着実に準備されるよう要望致します。

なお避難所を快適に過ごすには空調管理も重要です。近年の異常気象による熱中症での死亡事例の多発なども踏まえれば、避難所となる小中学校体育館のエアコン設置は命を守るためにも重要であり、有事において機能確保できるよう強く要望致します。

合わせて、迅速な復興対応もまた重要です。少しでも早く平素の生活に戻れるよう、その対応についてどうお考えかお聞かせ下さい。

○南野議長

総務部理事

○辰巳総務部理事

震災で被災された方が元の暮らしを一刻も早く取り戻すため、災害対策本部を中心に市内が一致団結して、迅速な復旧復興対応に努めて参ります。中でもライフラインの速やかな復旧と、家屋全壊・半壊世帯への住宅供給が急務であると認識をいたしております。

まず、電気・ガス・水道などのライフラインにつきましては、平時から関係機関との情報連携に努めますとともに、有事を想定した連携訓練を継続して実施することで課題を整理し、市民の皆様にも少しでも早く日々の生活を取り戻していただけるよう、ライフライン復旧までの対策も含め連携してまいります。

また、住宅供給に関しましては、市においても応急仮設住宅の建設に努めてまいります。民間賃貸住宅の空き部屋を活用した大阪府の「みなし仮設住宅」は迅速に住

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

いを提供できる制度であると認識しており、大阪府としっかり連携して参ります。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

様々に取り組みられることを理解しました。

迅速な復旧・復興は震災関連死などから市民の命を守ることになります。

安全安心はまちづくりの根幹であり、水害・地震対策についてインフラ整備や有事を想定した訓練、様々な取り組みを行い、継続して命を守る取り組みを着実に進めるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

1 防災政策について

- 2 学力向上等への教育政策について
- 3 コロナ対策での経済活性化について
- 4 地域共育での孤立家庭防止について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]